



2025年3月期 決算補足説明会

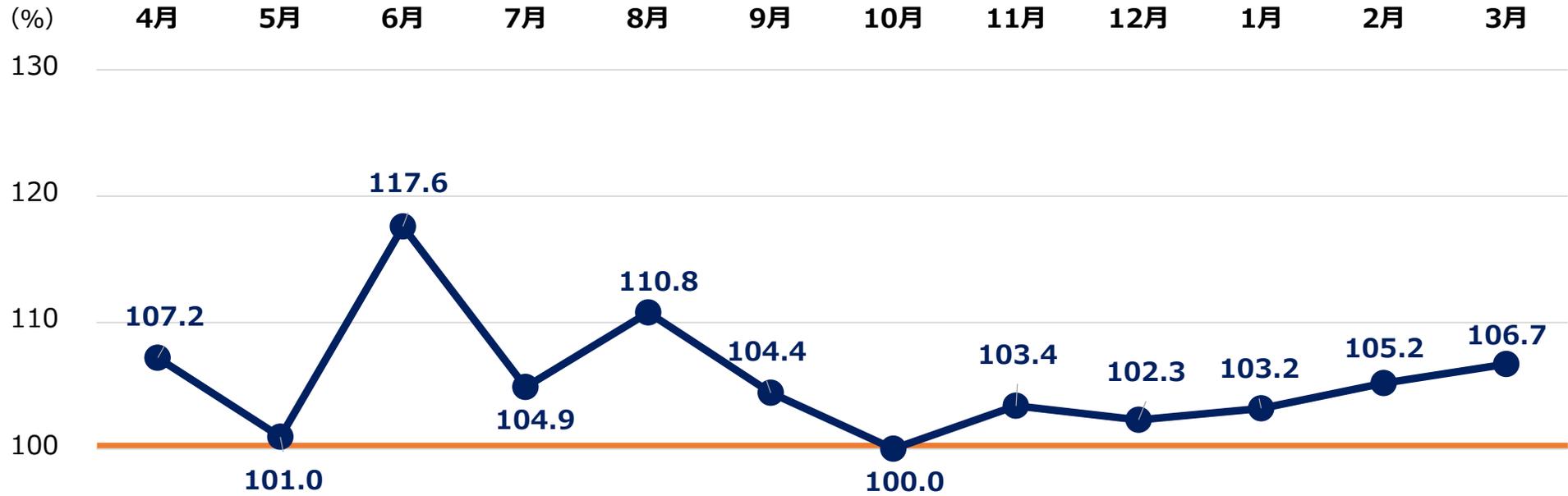
株式会社エディオン
2025年5月09日

- 1. 2025年3月期 実績報告**
- 2. 2026年3月期 業績予想**
- 3. トピックス**

1. 2025年3月期 実績報告

振り返り

全店前年比 (POS受注ベース)



2025年3月期累計 前年比 105.6% (既存店比 103.3%)

上期 前年比 107.6% (既存店比 104.4%)

下期 前年比 103.6% (既存店比 102.2%)

四半期別の状況

- 第1四半期 **108.9%** (既存店105.3%) : 主要商品が好調に推移、エアコンとELSが全体を牽引しました
- 第2四半期 **106.5%** (既存店103.7%) : 省エネ、大型モデルのエアコンが引き続き順調な売れ行きでした
- 第3四半期 **102.0%** (既存店100.6%) : 需要は底堅く、気温の低下とともに年末商戦は盛り上がりました
- 第4四半期 **105.2%** (既存店103.7%) : 決算、新生活と消費者の購買は底堅く好調に推移しました

連結損益計算書

百万円・%	2025年3月期 業績予想（公表値）		2025年3月期 実績				
	売上比	予想	売上比	実績	前年比	前年増減	公表値差
売上高		761,500		768,129	106.5	47,043	6,629
売上総利益	29.27	222,880	29.01	222,866	106.3	13,279	▲13
販売管理費	26.4	200,680	26.0	199,471	103.5	6,815	▲1,208
広告宣伝費・販売費	6.4	48,924	6.3	48,443	103.2	1,497	▲481
人件費	10.8	81,926	10.6	81,660	103.4	2,679	▲265
設備費・その他管理費	7.6	58,189	7.5	57,578	102.9	1,633	▲611
減価償却費	1.5	11,639	1.5	11,789	109.3	1,004	149
営業利益	2.9	22,200	3.05	23,394	138.2	6,464	1,194
営業外収益	—	—	0.2	1,656	106.1	94	
営業外費用	—	—	0.1	700	60.8	-452	
経常利益	3.0	23,100	3.2	24,350	140.4	7,011	1,250
特別利益	—	—	0.0	148	74.4	-51	
特別損失	—	—	0.4	3,313	102.0	64	
税金等調整前当期純利益	—	—	2.8	21,186	148.3	6,895	811
法人税等合計	—	—	0.9	6,954	130.2	1,612	
非支配株主に帰属する 当期純利益	—	—	0.0	113	156.4	40	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.8	13,500	1.8	14,118	156.5	5,097	618

業績サマリ

売上高

季節商品が好調に推移したことに加え、M & Aによる子会社の増加、インバウンド需要の増加等により前年を470億円、業績予想を66億円上回りました

売上総利益

売上高の増加に伴い、売上総利益金額は132億円増加しました

販売管理費

販管費はベースアップや新店の家賃等、子会社の増加などにより前年を6.8億円上回りましたが、計画を12億円下回りました

営業外収益

内容は、主に受取利息や受取配当金、雑収入金で概ね前年並みとなりました

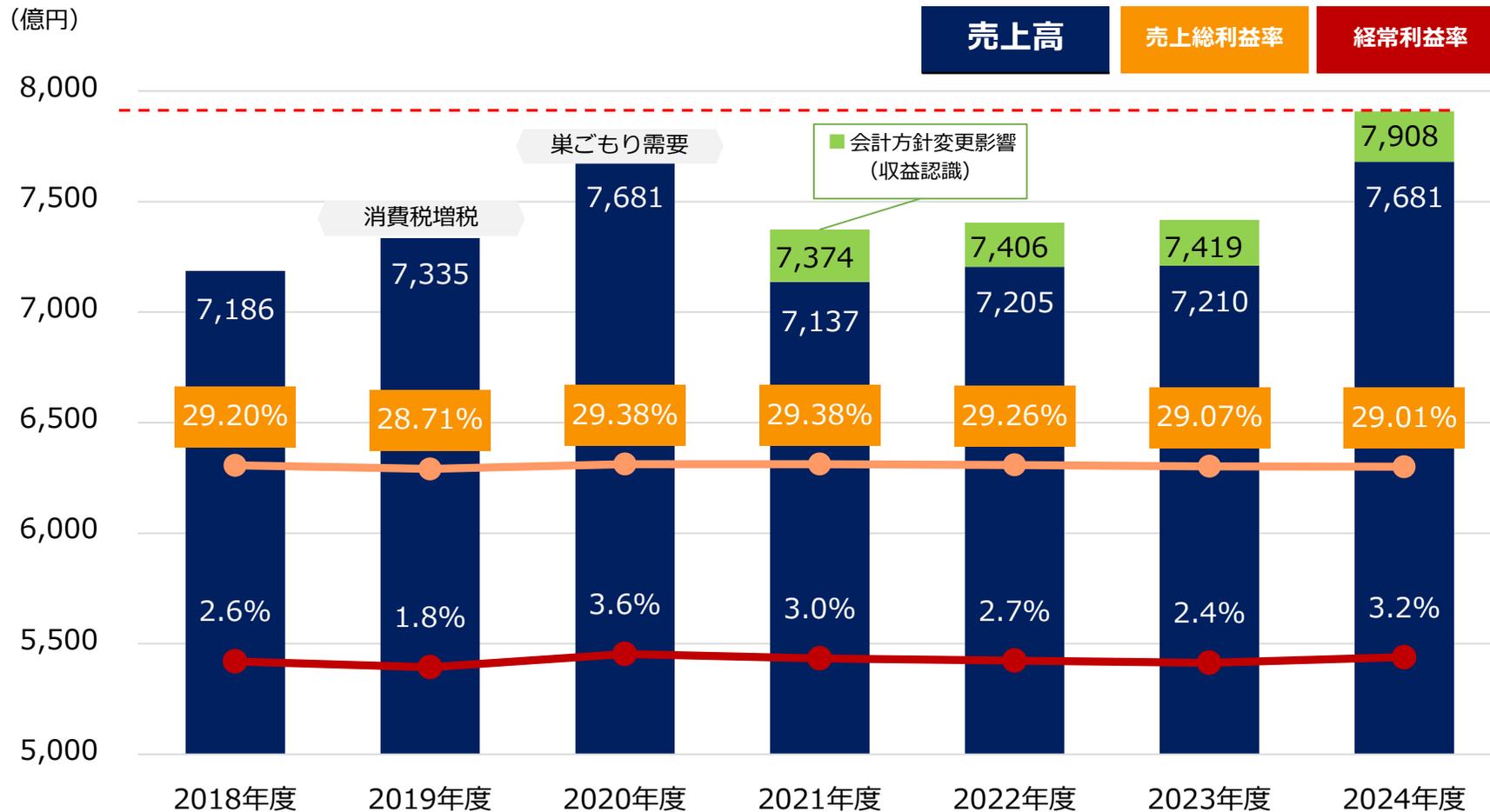
営業外費用

前年と比較して452百万円減少しました
主な要因はスタジアム建設に伴う寄付金の減少になります

特別損失（主な内訳）

減損損失 2,435百万円（前期差 ▲376百万円）
固定資産除却損 759百万円（前期差 +499百万円）

業績推移



- 売上高においては、会計方針適用前で7,908億円となり、2018年以降で最高の売上高となりました
- 売上総利益率 当期実績 29.01% 前期 29.07% ▲0.06%と微減となりました
- 販売管理費比率について0.7%改善したした結果、経常利益率は3.2%となり前年同期よりも0.8%改善しました

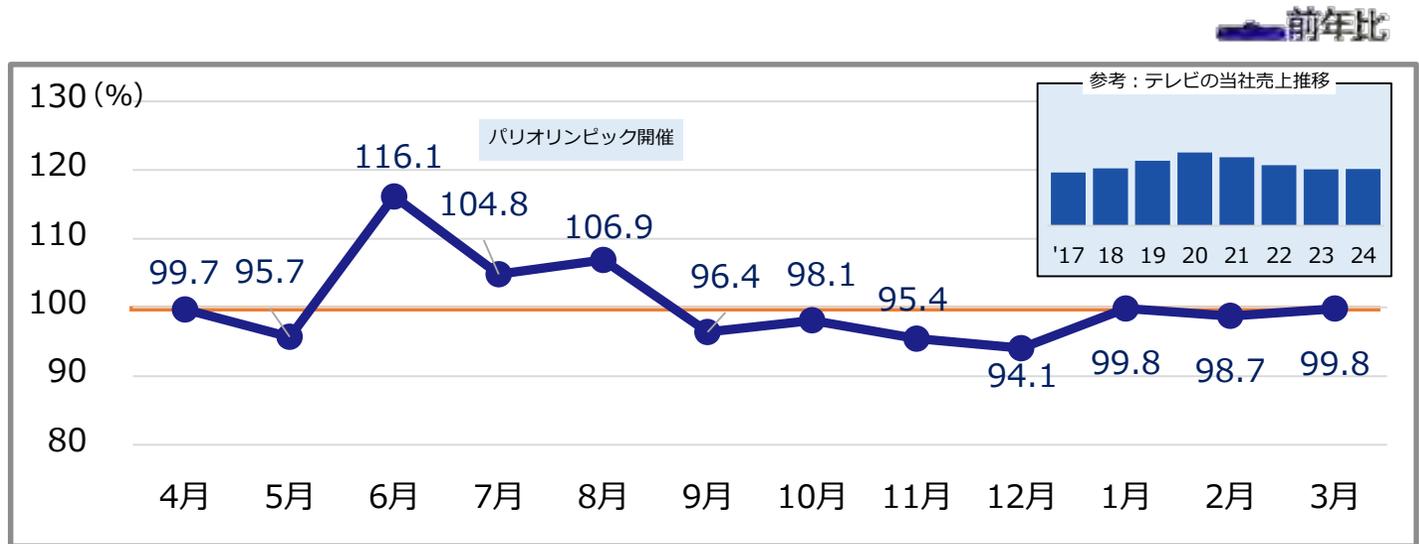
主要商品別受注売上 (商品別受注前年比 (POSベース))

テレビ

年度累計
前年比 100.1%

今年度の特徴

パリオリンピック開催に向けて底打ち感が強まりました
Mini-LED搭載モデルが好調に推移しています

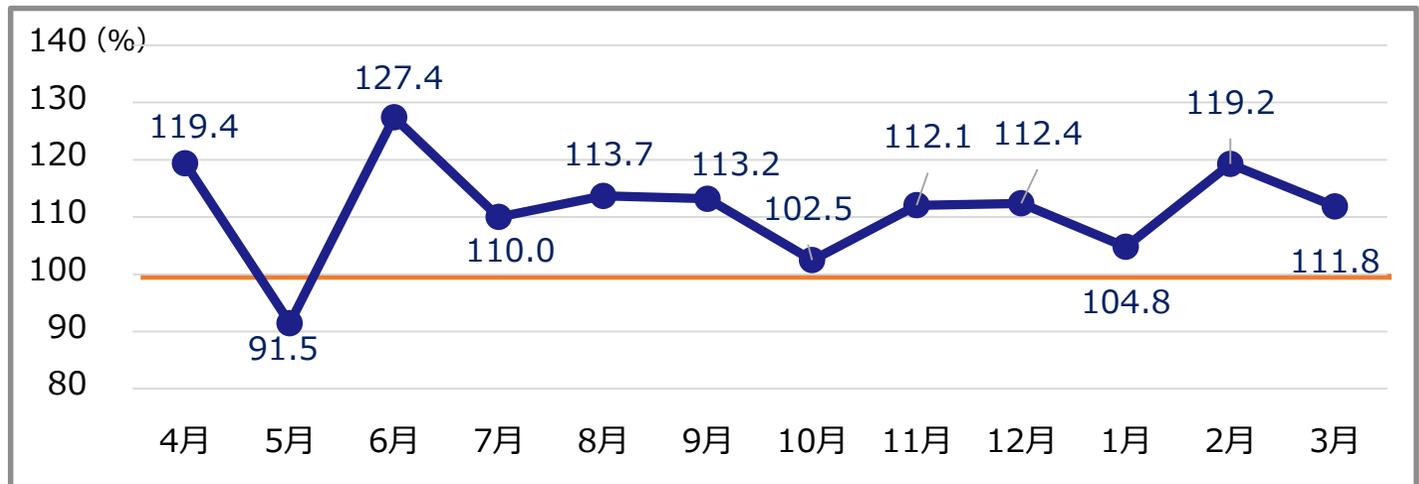


エアコン

年度累計
前年比 111.8%

今年度の特徴

猛暑・酷暑により強い需要が継続し、下期からは暖房需要としても好調。大型省エネモデルが好調に推移しています



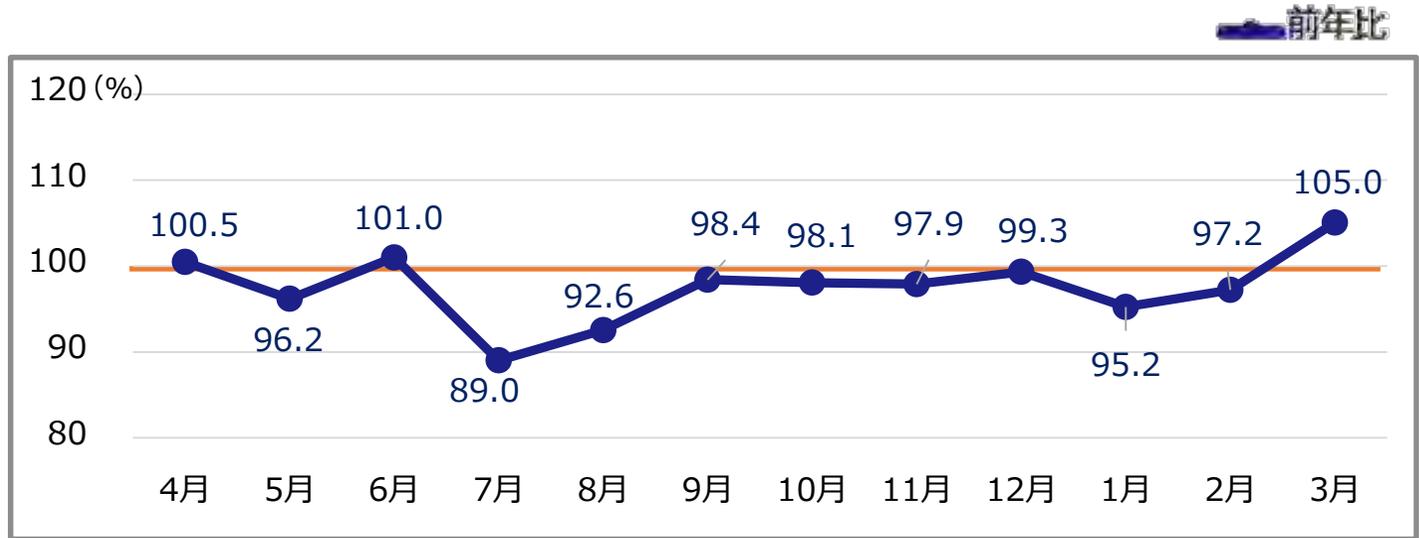
主要商品別受注売上 (商品別受注前年比 (POSベース))

冷蔵庫

年度累計
前年比 97.2%

今年度の特徴

前半は中小型の構成が高まり、後半につれて大型モデルの構成が高まりました
底堅い買い替え需要

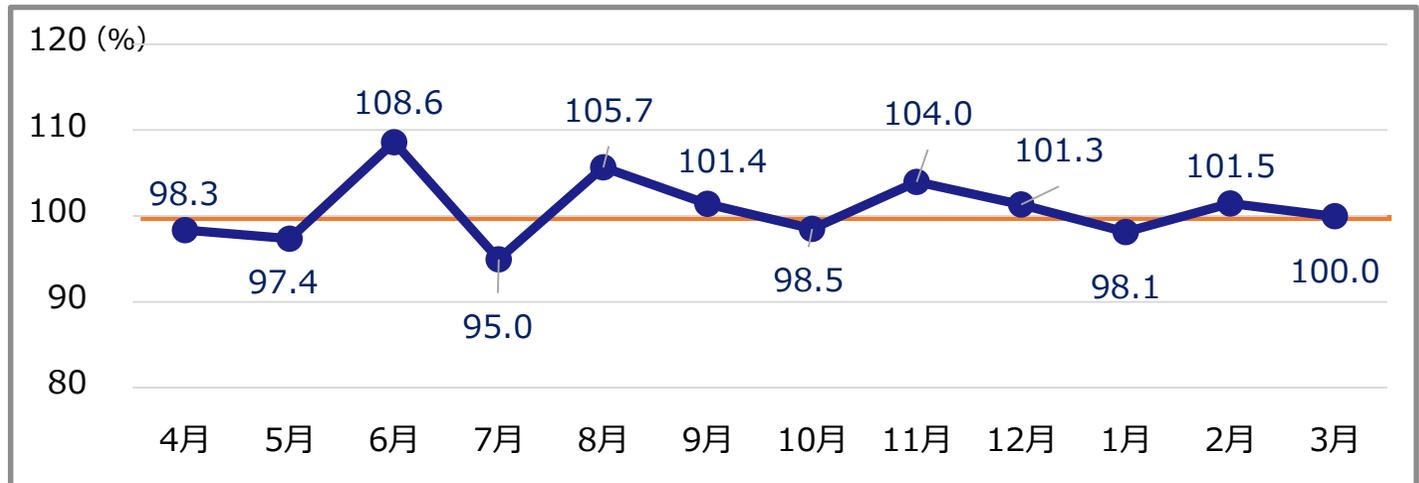


洗濯機

年度累計
前年比 100.7%

今年度の特徴

ドラム型やインバーター大容量の縦型洗濯機が好調に推移しています



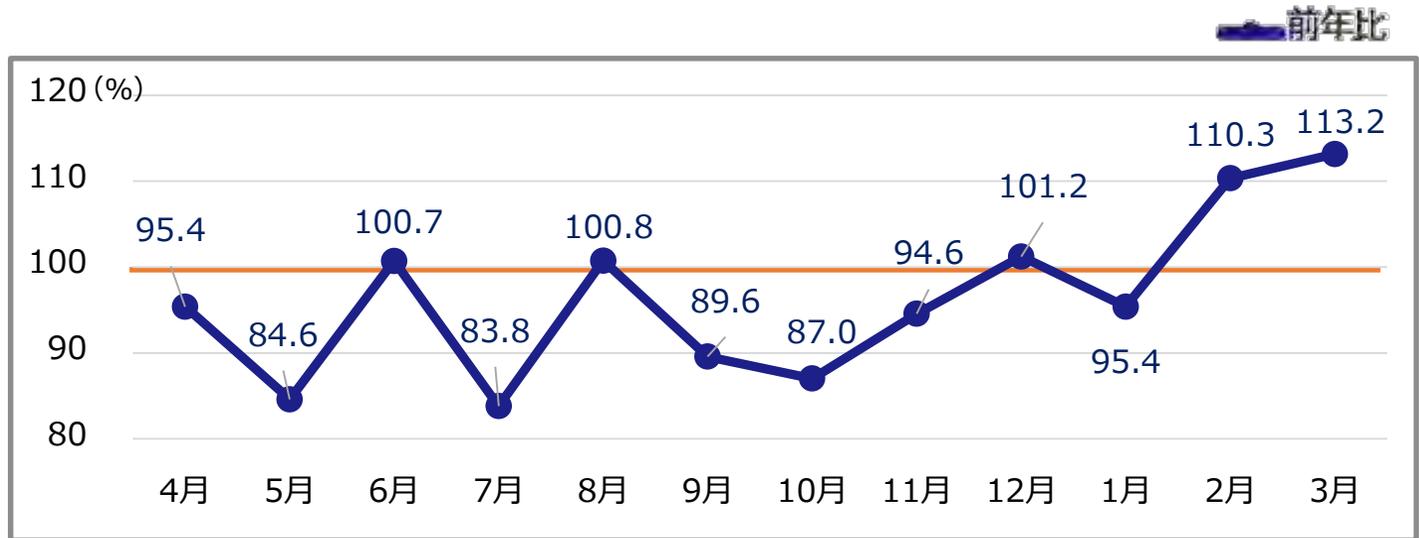
主要商品別受注売上 (商品別受注前年比 (POSベース))

パソコン

年度累計
前年比 98.4%

今年度の特徴

足元では新生活需要の盛り上がりがありました
Windows10サポート終了については2025年10月予定

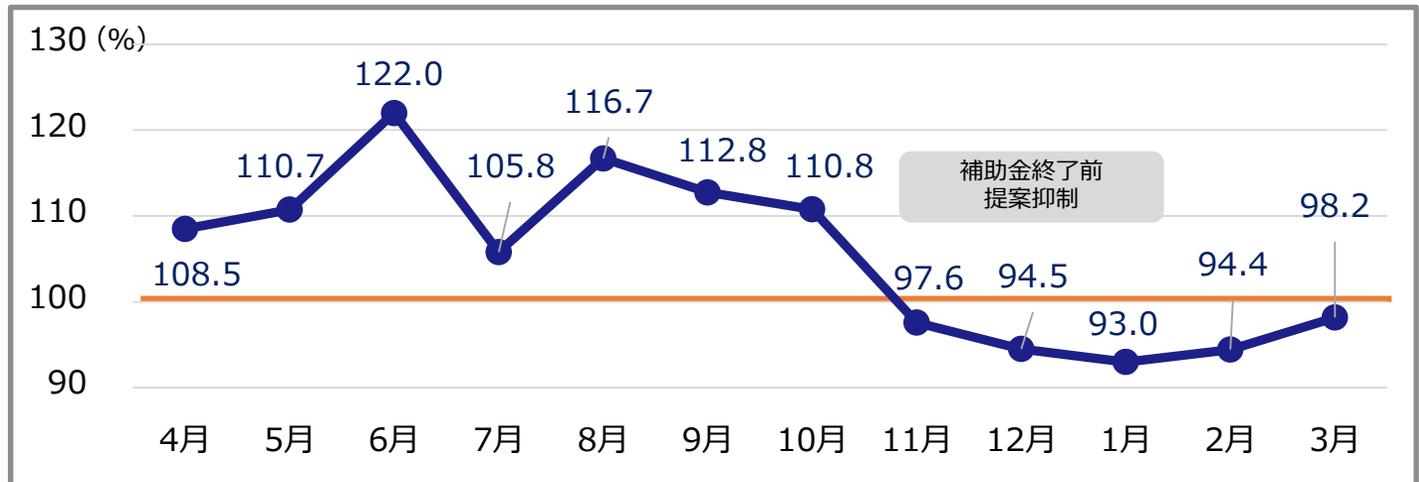


ELS (リフォーム事業)

年度累計
前年比 104.7%

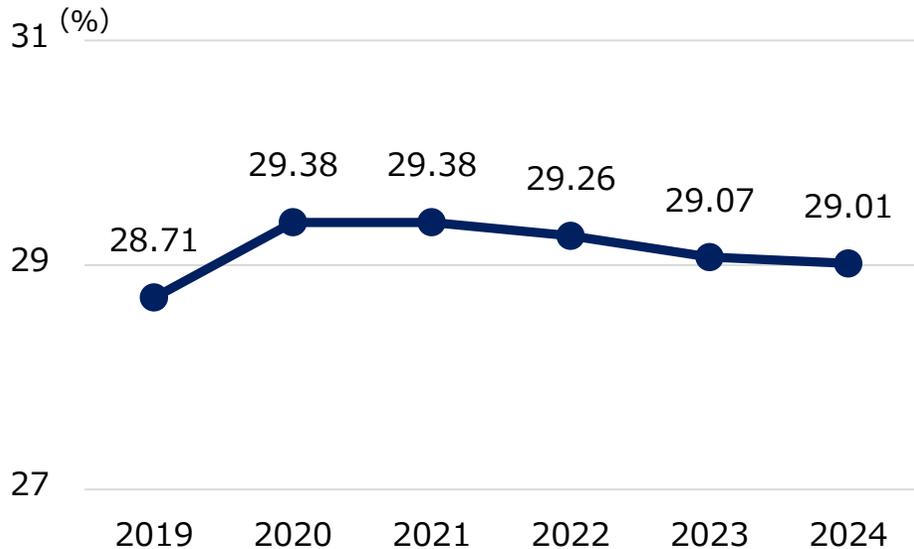
今年度の特徴

「子育てエコホーム支援事業」補助金終了に向けた調整により第3四半期からは前年割れとなりました



売上総利益率・販管費率の状況

売上総利益率



売上総利益率

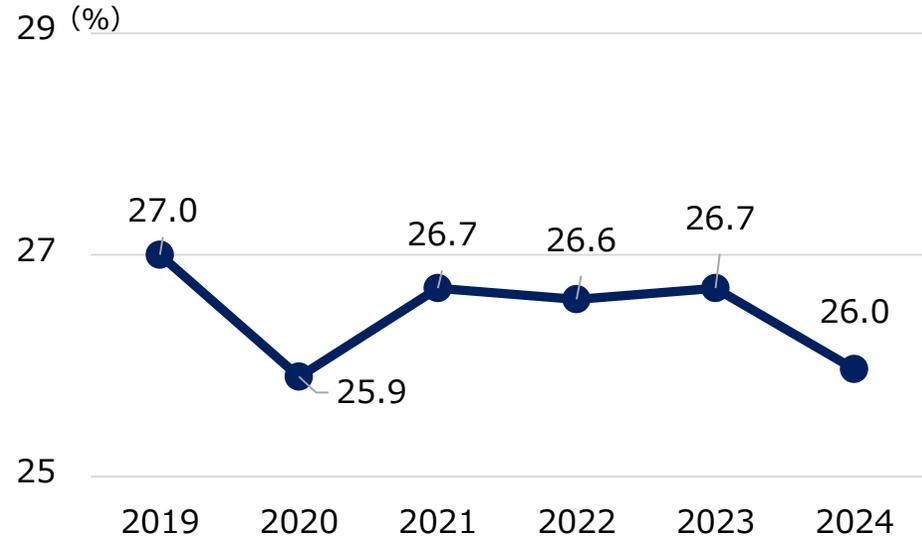
当期 29.01% 前期 29.07% 前期差 $\Delta 0.06\%$ (+132.7億円)

(内訳)	当期	前期	差	金額前年差
第1四半期	29.96%	30.13%	$\Delta 0.17\%$	+37.7億円
第2四半期	30.34%	30.29%	+0.05%	+44.6億円
第3四半期	27.80%	27.19%	+0.61%	+30.8億円
第4四半期	27.97%	28.74%	$\Delta 0.77\%$	+19.5億円

(主な要因)

第2四半期・第3四半期は粗利率が改善しましたが、第4四半期では携帯電話の販売が前期から増加した影響で粗利率は低下しました。売上の伸長もあり、売上総利益額は132.7億円増加しました。

販管費率



販管費率

当期 25.97% 前期 26.72% 前期差 $\Delta 0.75\%$

販売費及び一般管理費

当期 1,994億円 前期 1,926億円 前期差 +68.1億円

(主な金額増加要因)

- 広告宣伝費・販売費 +14.9億円 (売上変動+10億円)
- 人件費 +26.7億円 (ベースアップ等)
- 設備費・管理費 +16.3億円
(水光費+6.2億円 賃借料5.1億円)
- 減価償却費 +10億円 (新店等)

連結貸借対照表

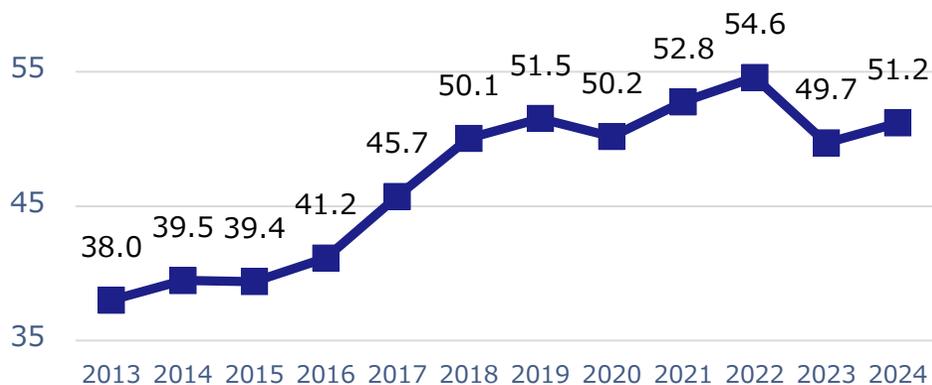
(百万円)

資産	2024年 3月末	2025年 3月末	増減
現金及び預金	12,011	8,834	△3,176
商品及び製品	117,902	120,087	2,184
その他	59,852	62,251	2,398
流動資産	189,766	191,173	1,406
有形固定資産	177,824	175,690	△2,133
無形固定資産	10,948	11,934	986
投資その他の資産	53,156	56,032	2,875
固定資産	241,928	243,657	1,728
資産合計	431,694	434,830	3,135

(百万円)

負債・純資産	2024年 3月末	2025年 3月末	増減
短期借入金	38,591	31,255	△7,336
1年以内返済長期借入金	10,113	3,470	△6,643
1年以内返済社債	-	2,510	2,510
流動負債	149,458	144,220	△5,238
長期借入金	31,243	40,667	9,424
固定負債	67,314	67,664	350
負債合計	216,773	211,884	△4,888
純資産	214,921	222,946	8,024
負債・純資産合計	431,694	434,830	3,135

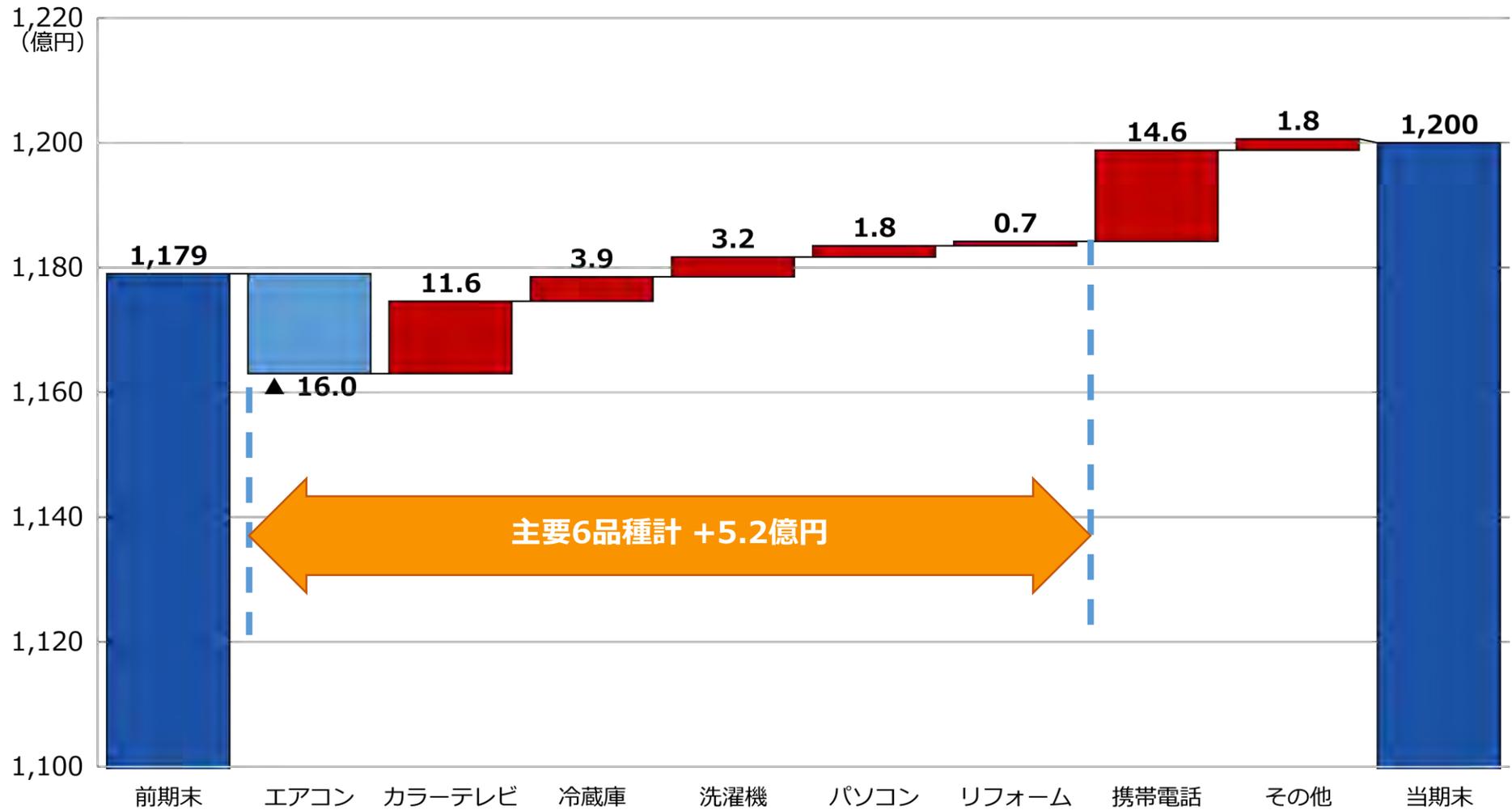
■自己資本比率(%)



■ ROE・ROIC・WACC



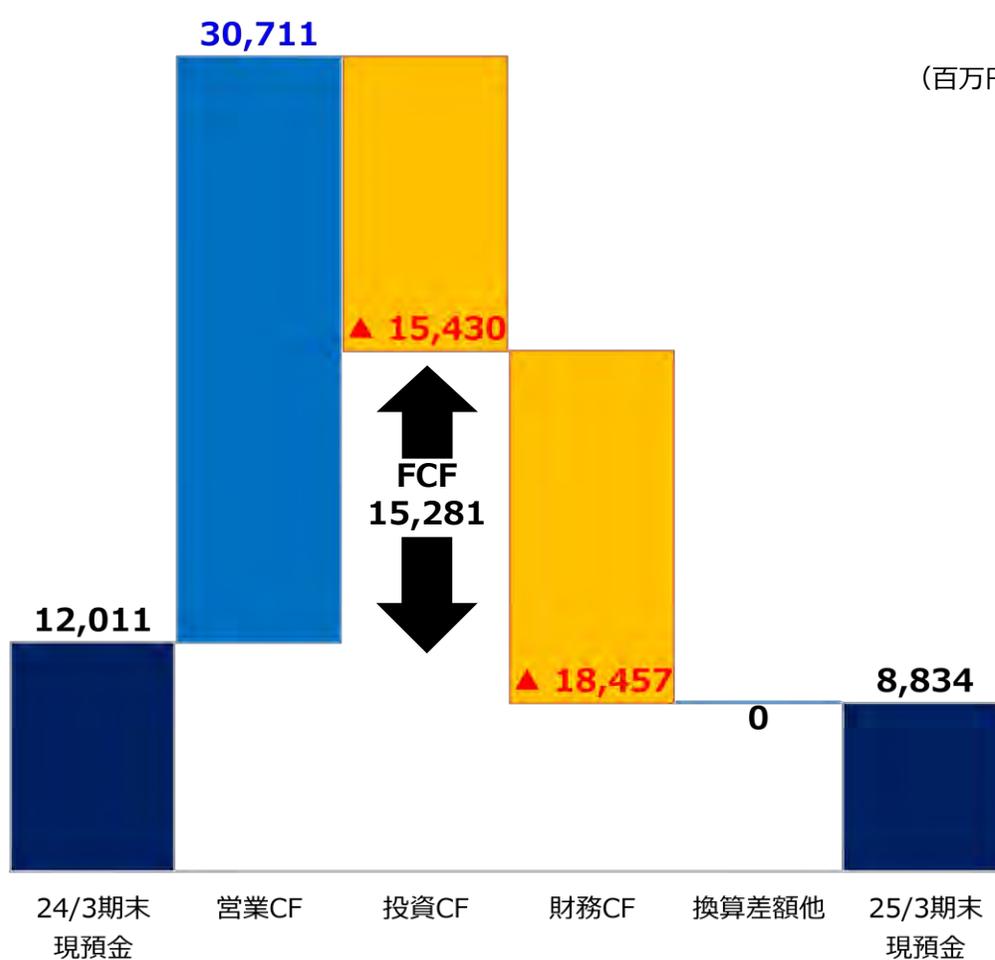
主要商品別在庫状況 (前期比較)



※ 1億円未満を切り捨て表示しています

連結キャッシュフロー計算書

- 営業キャッシュフローは当期利益の増加と売上債権の減少により大きく増加し307億円となりました
- 2023年度は「なんば本店」の土地建物を取得したこともあり、2023年度比較でフリーキャッシュフローが大きく改善しました



(百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期
税引前当期純利益	14,290	21,186
賞与引当金	92	445
売上債権 (△は増加)	△2,405	△1,592
棚卸資産増減 (△は増加)	△1,761	△2,177
その他	17,066	18,402
小計	27,282	36,264
法人税等	△6,618	△5,255
その他	△701	△297
①営業活動CF	19,962	30,711
有形固定資産取得	△66,434	△9,329
その他	△2,283	△6,101
②投資活動CF	△68,717	△15,430
①+②フリーキャッシュフロー	△48,755	15,281
短期借入金	38,340	△7,978
長期借入金	14,225	3,013
自己株式取得	△1	△7,986
配当金支払	△3,953	△4,482
その他	△1,078	△1,023
③財務活動CF	47,531	△18,457
①+②+③現金及び現金同等物の増減額	△1,224	△3,176

2. 2026年3月末 業績予想

連結業績予想

百万円・%	上期		下期		2026年3月期			
	業績予想	前年比	業績予想	前年比	売上比	業績予想	前年比	前年増減
売上高	390,000	102.5	400,000	103.2		790,000	102.8	21,870
売上総利益	118,000	102.8	112,000	103.6	29.11	230,000	103.2	7,133
販売管理費	103,000	102.7	102,000	102.8	25.9	205,000	102.8	5,528
広告宣伝費・販売費	25,323	102.2	24,467	103.4	6.3	49,790	102.8	1,346
人件費	41,496	102.0	41,604	101.6	10.5	83,100	101.8	1,439
設備費・その他管理費	30,501	104.5	29,949	105.5	7.7	60,450	105.0	2,871
減価償却費	5,681	101.2	5,978	96.8	1.5	11,660	98.9	-129
営業利益	15,000	103.5	10,000	112.4	3.2	25,000	106.9	1,605
経常利益	16,000	106.5	10,000	107.3	3.3	26,000	106.8	1,649
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,200	101.7	4,300	105.2	1.8	14,500	102.7	381

- 売上高 既存店前年比：上期 101.8% / 下期 102.9% / 通期予想 102.5%
- 粗利率 前期同水準想定 29.11% (前期実績 29.01%)
- 販売費および一般管理費 (主な増加要因)
 - ・ 広告宣伝費・販売費：新店分および売上変動分の増加
 - ・ 人件費：給与ベースアップ
 - ・ 設備費・管理費：新店家賃等の増加、移転・改装等の一時経費

出店・移転・閉店実績 および 計画

出退店計画 / 実績		新設	移転・建替	閉鎖	増減	期末店舗数	
2025年3月期	実績	上期	5店舗	1店舗	3店舗	+2店舗	456店舗
		下期	2店舗	0店舗	4店舗	-2店舗	454店舗
		通期	7店舗	1店舗	7店舗	±0店舗	454店舗
2026年3月期	計画	通期	3店舗	5店舗	-	+3店舗	457店舗



2025年4月 諫早店（長崎県）オープン

エディオングループ計

1,190 店舗

直営店 454店舗 ■ フランチャイズ店 736店舗

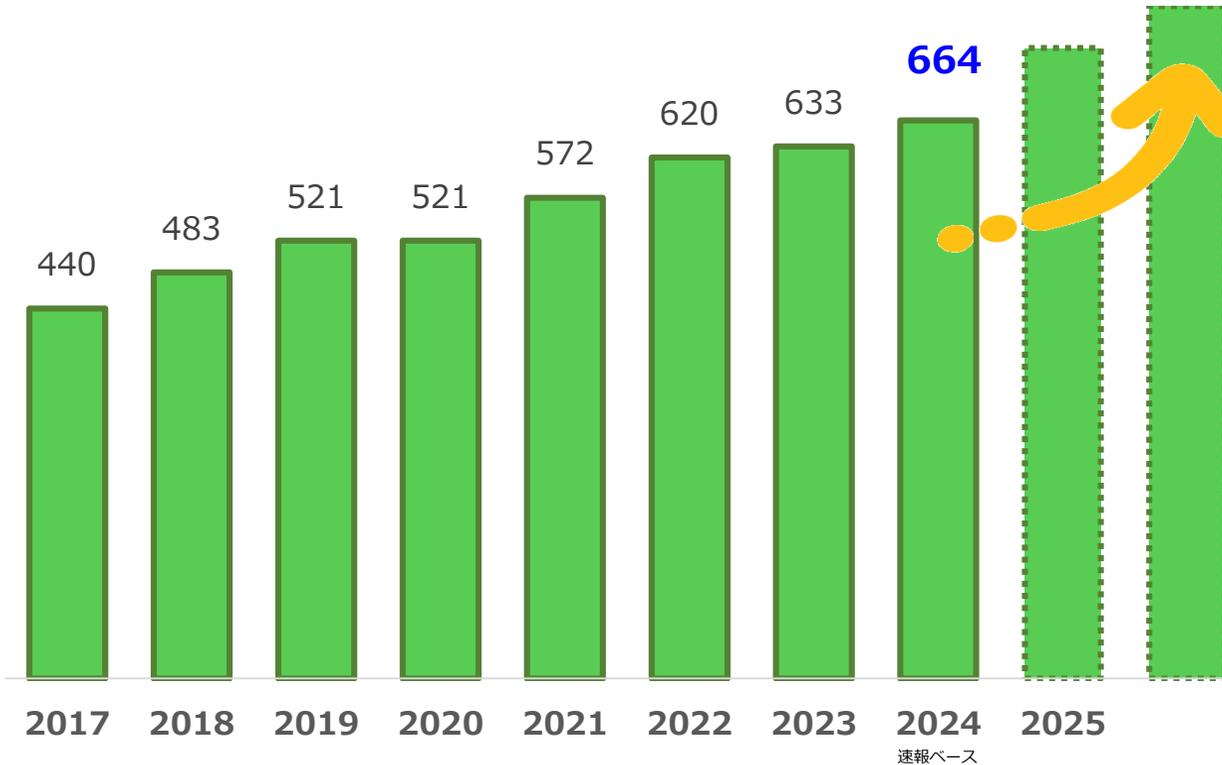
※2025年3月末時点

3. トピックス

ELS事業の強化

家電に次ぐ事業として成長を促進

(億円)



研修体制の充実／ノウハウの習得と品質向上



2025年2月28日子会社化

- 積極的M&A ノウハウを全店に普及することで更なる売上拡大を目指す
(専門性の高い外壁塗装：麻布、給湯器の買い替え、工事技術力：正直屋)
- リフォームのEC強化 未展開エリアでの顧客獲得にも注力

エアコン・冷蔵庫・洗濯機など、大型商品の訪問修理なら

家電の119番
訪問修理窓口

24時間
365日
ご利用OK

お客様の利便性向上とDX強化



- ・アプリと連動し保証期間の確認
- ・当社以外でご購入の家電製品もWEBで24時間365日いつでも訪問修理依頼が可能
- ・レシートなどの電子化促進
- ・使用年数に応じた点検サービス提案



エアコンクリーニングの取り組み強化

(2022年度実績)

(2023年度実績)

(2024年度実績)

22万台 ➡ 25万台 ➡ 27万台

くらしを、新しい角度から。

eangle



シーズンにあわせたシンプルな性能



トレンドをおさえたカラーデザイン

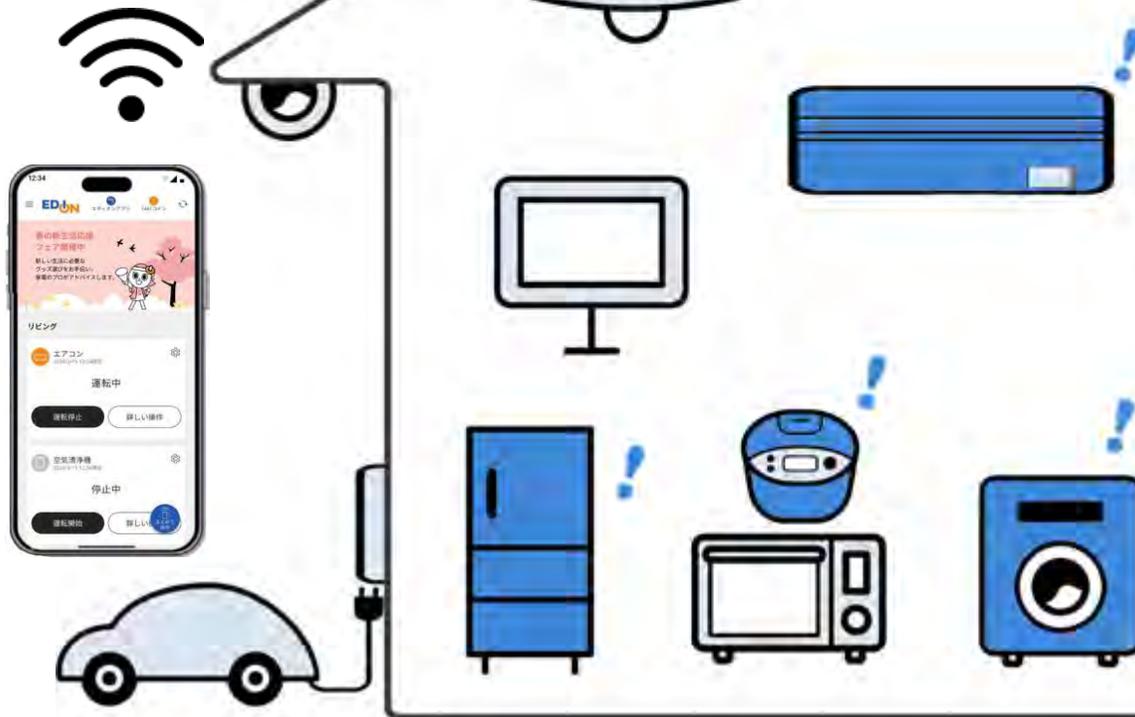
- 商品全体におけるイーアングルの売上構成は前年度から約2倍と成長しました
- 最新の商品ラインナップはイーアングルサイトでご確認ください

<https://www.edion.com/eangle>

アプリの充実（DX促進）

2025年4月1日新アプリ

IoT 家電操作アプリ登場

エディオン
スマートアプリ

①便利

外出先からスマホで電源ON・OFF

②安心

接続家電の故障・修理方法をお知らせ

③まとまる

ことなるメーカーもまとめて管理

* 2024年4月末地点の対応する家電製品はエアコン、冷蔵庫、洗濯機、空気清浄機、炊飯器、エコ給湯など。

インバウンドの取り組み



イベント参加によるブランド認知アップ

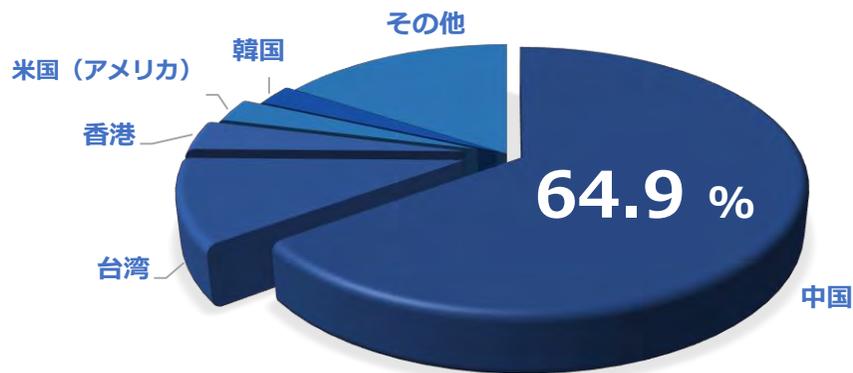


お困りごと・お買い物の相談スタッフを導入



空港・ホテルなどへのお届けに対応

来店客数 (国別構成比)



体験・体感コーナーの充実

サステナビリティ経営の強化

循環社会への取り組み

循環型社会の実現に向け家電リサイクル法の対象である家電製品の適正な処理を行い、小型家電のリサイクルや発泡スチロールの再資源化などを積極的に取り組んでいます。認定事業者である子会社(株)イー・アール・ジャパンと連携しグループ一体となった回収体制を構築しています。また、多様な人材が活躍できる場を提供するなど様々な側面から社会課題解決に向けた取り組みを推進しています。



健康経営の推進

エディオンは従業員の健康を重視し、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。経済産業省および日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」において、取り組みが優良であると認定されました。



地域社会への支援

一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する障がい者アーティストの自立推進に繋がる活動「Paralym Art®」に賛同し、2021年9月よりオフィシャルパートナーとして協賛しています。本協賛を通じて今後も地域社会との協調を図り、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。



サステナビリティ推進委員会

当社では「お客様の豊かな暮らしを永続的に支える企業」でありたいという考えのもと、エディオングループの経営理念に基づいて持続的な成長とすべてのステークホルダーの発展に資するため、サステナビリティに関する取り組みを推進しています。サステナビリティ推進委員会において、マテリアリティ・CO2の削減など部門横断して活発な議論を行い、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを強化しています。

株価・配当推移

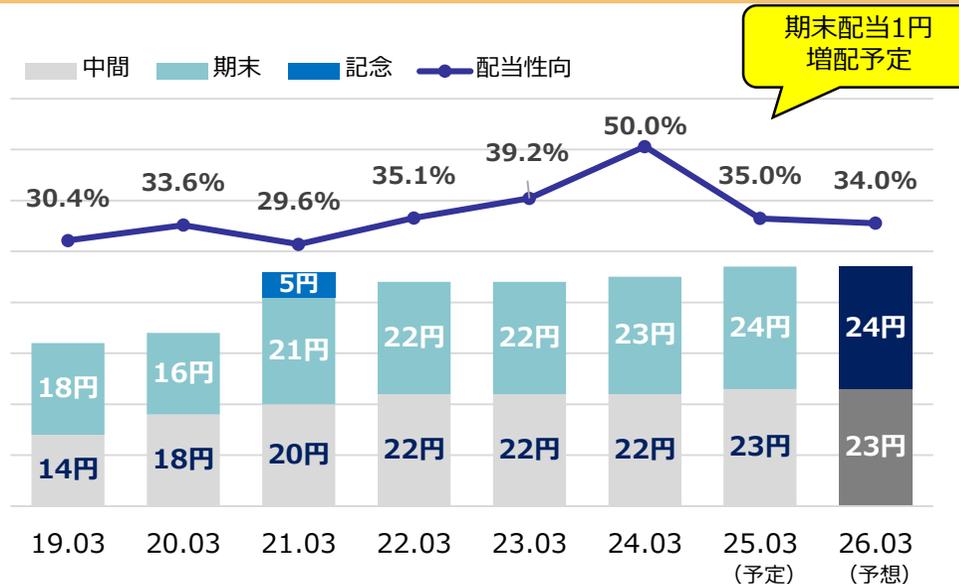
ROIC向上を指標に掲げ、資本効率の向上とともに健全なバランスシートの維持を重視します

1. 配当政策

株主への利益還元を経営の重要課題と認識しております。配当については、業績および経営環境等を総合的に加味し配当性向30%以上の安定配当を基本方針としています。

2. 自己株式の取得

資本効率の向上に資する株主還元策を前提に、業績・経営環境や投資および株価を含めた市場環境を総合的に考慮し機動的に実施します。



■ 株価推移



注意事項

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
- 本資料に掲載されている予測等については、様々なリスクや不確実性が内在しており、その正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料は、当社の事業内容、業績等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- 本資料につきましては、無断で複製または転送等を行われないうようお願いいたします。

2025年5月9日



2025年3月期 決算補足説明会

株式会社エディオン
2025年5月9日